

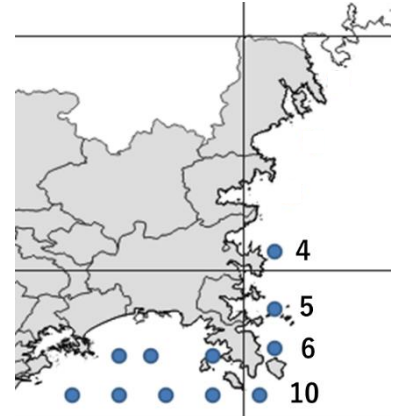
令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 6)

令和2年2月14日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和2年2月12日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で9.2~9.7℃の範囲にあった。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、確認されませんでした。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis acuminata* 及び *D. fortii*) は確認されませんでした。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (℃)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						2月12日	9月3日	2月12日	9月3日	2月12日	9月3日	
4	12:18 84.0	0	5.0	9.2	33.8	0	0	0	0	10	0	
		10		9.1								
		20		9.1								
		30		9.1								
5	11:37 30.0	0	11.0	9.3	33.9	0	10	0	0	0	0	
		10		9.4								
		20		9.4								
		30		9.0								
6	11:03 66.0	0	10.0	9.4	34.0	0	10	0	0	0	10	
		10		9.2								
		20		9.2								
		30		9.2								
10	10:21 82.0	0	10.0	9.7	33.9	0	0	0	0	0	0	
		10		9.5								
		20		9.5								
		30		9.6								
		40		9.7	34.1							

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水